

平成28年11月22日



名古屋港管理組合

グリーンアワード・プログラムへの参加について

11月21日（月）に名古屋港管理組合は、海洋環境保護・船舶の安全運航を目的として設立された非営利活動法人グリーンアワード財団（本部：オランダ・ロッテルダム）が世界規模で取組んでいる「グリーンアワード・プログラム」（別紙1）に参加いたしました。

このプログラムは、環境負荷低減や安全運航に寄与する優良船舶を認証するグリーンアワード財団、認証船舶の船主及び港湾管理者・港湾関係事業者・金融機関等のプログラム参加者が連携することで、海洋環境保護・船舶の安全運航を促進することを目的としており、港湾では欧州、南アフリカ、カナダなど、世界12か国、32港が参加しています。

名古屋港では、長期構想「名古屋港の針路」において「環境にやさしい港」、「安全な港」を目指しており、グリーンアワード・プログラムに参加し、名古屋港に入港する認証船舶に対して優遇措置を与えることで、港湾の環境保護、船舶の安全運航の取組を進めてまいります。

【お問合せ先】

名古屋港管理組合港営部港営課
担当 柴垣、鶴田
TEL 052-654-7875

グリーンアワード・プログラムについて

1. プログラムの概要

グリーンアワード・プログラムを運営するグリーンアワード財団は、オランダに本部を置く非営利活動法人（NPO）であり、1990 年前半にロッテルダム港で起きた原油流出事故を契機に、オランダ運輸省とロッテルダム市港湾局により設立され、2000 年 1 月以降、完全な独立団体として活動を行っており、現在は船社からの会費、検査料により運営されている。

このプログラムは、環境負荷低減や安全運航に寄与する優良船舶を認証するグリーンアワード財団、認証船舶の船主及び港湾管理者・港湾関係事業者・金融機関等のプログラム参加者が連携することで、海洋環境保護・船舶の安全運航を促進することを目的としている。

プログラムの具体的な枠組みは、

① 同財団が基準に適合した船舶を認証

② 認証船舶がプログラム参加者（港湾管理者等）から入港料減免等を楽しむものであり、これにより、環境面・安全面における船舶・船員の質の向上を図るものである。

2. 国内外におけるプログラムへの参加状況

（1）認証船舶

①認証審査

船舶と船主及び運航会社のオフィス調査により当該船舶の安全性・環境対応を審査

②対象船舶

20,000 載貨重量トン以上のオイルタンカー・ケミカルタンカー・バルク船舶、5,000 載貨重量トン以上のコンテナ船及び内陸バージが対象

③認証船舶数

223 隻（ドライバルク船 6 隻、LNG 船 63 隻、オイルタンカー150 隻、LPG 船 1 隻、ケミカルタンカー3 隻）

邦船社の認証取得 11 隻（日本郵船、川崎汽船、商船三井、飯野海運／全て LNG 船）

(2) 参加港湾

欧州、南アフリカ、カナダ等 12 か国、32 港。国内では北九州港が参加。

(参加港湾は入港料等の優遇措置（インセンティブ）を実施)

国 名		港 名
オランダ	6 港	ロッテルダム港、アムステルダム港、ムールデイク港 他
ベルギー	1 港	アントワープ港
ドイツ	1 港	ハンブルク港
ラトビア	1 港	リガ港
リトアニア	1 港	クライペダ港
ジブラルタル	1 港	ジブラルタル港
ポルトガル	4 港	リスボン港、シネス港 他
南アフリカ	8 港	ケープタウン港、ポートエリザベス港、ダーバン港 他
カナダ	4 港	バンクーバー港、モントリオール港、プリンスルパート港 他
ニュージーランド	3 港	ウェリントン港、ネルソン港、タラナキ港
オマーン	1 港	ソハール港
日本	1 港	北九州港